

■評価委員の検証結果及び県の評価(案)

中 期 目 標 期 間 評 価

資料5

	病院自己評価	県評価(案)
S評価	3	2
A評価	8	8
B評価	11	12
C評価	2	2
D評価	0	0
計	24	24

<病院の自己評価>

S	中期計画を大幅に上回って実施している。(特に優れた実績)
A	中期計画を上回って実施している。
B	概ね中期計画どおり実施している。(達成度が概ね9割以上)
C	中期計画を十分に実施できていない。(達成度が概ね6割以上9割未満)
D	中期計画を大幅に下回っている。(達成度が6割未満)

<県の評価(評価委員会の検証)>

S	中期目標を大幅に上回って達成した。
A	中期目標を達成した。
B	中期目標を概ね達成した。
C	中期目標が十分に達成されたとはいえない。
D	中期目標が大幅に達成されておらず、改善が必要。

大項目 中項目 小項目	中期目標期間中の 年度評価結果				病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	備 考 (自己評価から変更した理由)	項目 別の ページ
	R3	R4	R5	R6											
第3 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置															
1 診療事業															
(1) 良質かつ適切な医療の提供	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	④インシデントレポートの分析に検討の余地がある ⑥病院機能評価を受審し、サーベイヤーによる調査により、感染制御体制に係る指摘や救急医療機能においてS評価を受けたのは評価できる。	A		10
(2) 患者の視点に立った医療の提供	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	④「ご意見箱」への対応は高く評価できる ⑥職員処分要綱を制定するとともに、ハラスメント防止規程の一部改正を行い倫理観の向上を推進したとのことだが、ペイシエントハラスメント対策はどのようにしているか気になる。	A		12
(3) 救急医療の強化	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	②中期目標期間中、救急搬送受入率は目標値に達していないが、救急搬送患者受入数は、年々順調に増加している。 ④救急車受け入れ率のUPを目指してほしい。目標設定が2つのため、両方の達成に向けて取り組みを期待する。 ⑥救急搬送患者の受入数は大幅に増えているのに、受け入れ率が下がっている状況が気になる。患者の医療のかかり方についての周知啓発活動に力を入れることも必要ではないか。	A		14
(4) がん医療の高度化	B	B	C	C	C	C	C	B	C	C	B	②中期目標期間中の全年度において、がん入院患者延数、リニアック治療件数、PET-CT検査件数、外来化学療法延件数の指標全てが目標値を下回っている。またリニアック治療件数、PET-CT検査件数、外来化学療法件数は、年度を追って減少している。 ③中期目標との関係では、概ね達成したと評価できる。 ④がん検診の件数をUPするための具体的な戦略や取り組みに期待する ⑥外来化学療法延件数などの「がん医療の高度化」における目標というのは適切な目標設定なのだろうか。外来化学療法が適切ではないがんもあるように思う。	C		15

大項目		中期目標期間中の 年度評価結果				病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	備 考 (自己評価から変更した理由)	項目 別の ページ
中項目	小項目	R3	R4	R5	R6											
	(5) 産科医療や小児医療の充実	S	S	A	B	A	C	A	A	B	A	B	①出産数が減少している、又、小児救急体制縮小し、現在、小児救急に対応していない状態 ②年度評価は、年度毎に悪化してきている。 ④指標の分娩数と小児救急患者の減少からB評価とした。 助産師外来、母乳外来等の取り組みは評価できるが目標値設定がほしい。 ⑥産科医療及び小児(救急)医療の確保・充実、現在民間ではかなり難しくなっているため公的病院で、しっかりした体制を作っていただくようお願いしたい。	B	助産師外来、母乳外来、産後ケアなど取組の充実を図っているが、分娩数や小児救急体制の縮小による小児救急患者受入数などが減少していることから、『B評価』とした。	16
	(6) 特色ある医療の更なる推進	A	B	A	A	A	B	A	A	A	A	A	①糖尿病・内分泌センター件数、フットケア、透析予防外来の利用件数が低下しており、強化が必要 ③以前はS評価もあつた項目であり、引き続き頑張りたい。 ⑥手の外科センター、脊椎脊髄センターにおいて、高度な治療を実施した。また、脊椎脊髄センターでは、術中3Dナビゲーション装置を活用することにより、手術の精度・安全性の向上を実現していることは評価できる。	A		17
	(7) 地域住民の健康維持への貢献	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	②収益増加およびPET-CTの活用等のために、人間ドックの更なる拡充が求められる。 ⑥巡回検診事業など、積極的な保健指導の取り組みはこれからも力を入れていただきたい。	A		18
2 役割・機能の最適化と連携の強化																
	(1) 地域医療構想等を踏まえた病院の果たすべき役割・機能	A	S	S	S	S	A	S	S	S	S	S	①紹介率78%の目標は87%で上昇しているが、他中核病院は紹介率はもっと高く、目標値が低いのでは?病床使用率、又地域包括ケア病棟の使用率も低く、もっと利用可能ではないかと考える。 ②令和6年度より、地域包括ケア病棟の運用を開始しているが、今後は地域包括医療病棟の展開も検討してもらいたい。 ⑥地域の医療機関との連携を積極的に行い、術後の患者リハビリや身体機能強化プログラムを作成するなど、意欲的な取り組みがなされている。	S		20
	(2) 機能分化・連携強化	A	S	S	S	S	A	S	S	S	S	S	①上記同様 ⑥地域の医療機関との相談連携執務者会議など、定期的に行っているのは患者にとっても医療機関にとっても良いことであると思う。	S		21
3	新興感染症等への対策	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	④感染管理認定看護師(3名と充実)のさらなる活動を期待したい ⑥数値目標がない項目では、評価は病院で描かれている記述のみで行うことになるので、客観的な評価が難しい。	B		22

大項目 中項目 小項目	中期目標期間中の 年度評価結果				病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	備 考 (自己評価から変更した理由)	項目 別の ページ
	R3	R4	R5	R6											
4 災害時における医療救護	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	②令和7年度に、遅れてヘリポートの整備が行われたが、今後は津波防潮壁の整備が待ち望まれる。 ⑥ヘリポートが先行して竣工されたのは心強い。	A		23
5 医師・看護師等の確保と働き方改革															
(1) 質の高い医療従事者の確保・養成	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	②令和6年度にフルマッチした初期研修医の獲得が、これからも継続することが大いに期待される。 ④働き方改革について数値目標がほしい。職種ごとの離職率(全体、新人)、確保率および時間外時間数等を数値目標にしてはどうか？ ⑥医療従事者の確保が難しい中、医師を招聘できたことや、計画的な人材の育成が図られていること、離職率が下がっているという実績は素晴らしい。今後や離職率を数値目標に入れていただきたい。	A		24
(2) 医師の働き方改革への対応	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	④特定行為研修修了看護師の育成計画(人数、領域等)を目標値に追加してはどうか？ ⑥医師の働き方改革への対応という目標であれば、医師の時間外労働の数値を目標にするべきかと考える。	B		26
(3) 看護専門学校の充実強化	S	S	A	B	S	S	A	A	A	A	S	②令和6年度の評価をBとしても、中期目標期間中の評価はS/S/A/Bとなり、平均すればA評価が妥当と考えられる。 ③期間中の県内就職率の平均値はほぼ目標値であること、中期目標の文言との関係では「大幅に上回って」とまでは言いづらいことから、Aとした。 ④県内就職率のみを目標にするのではなく、教員養成数や入学生数(定員充足率)も目標値に追加すればどうか？ ⑤直近期がC評価のため、A評価が妥当と考えられる ⑥県の看護病院としては県内就職率を目標とするのも分かるが、個人の状況もあるので鳴門病院の努力だけでは数値を上げるのは難しい問題のように思う。	A	目標値の県内就職率の達成状況などを踏まえて、大幅に上回って達成とまでは言い難いことから、『A評価』とした。	27
第4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため とるべき措置															
1 業務運営体制															
(1) 効果的な業務運営の推進	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	⑥数値目標のない項目は、A評価とすべきかB評価とすべきか業務実績を読んだだけではなかなか計りづらい。Aにするには何が足りないと考えているのか、書いて頂けるとありがたい。	B		28

大項目 中項目 小項目			中期目標期間中の 年度評価結果				病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	備 考 (自己評価から変更した理由)	項目 別の ページ
			R3	R4	R5	R6											
		(2) 職員の就労環境の向上	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	④各資格手当(インセンティブ)を追加したことにより、モチベーションUPに期待したい ⑥賞金などの処遇については、これからますます上がっていき、経営的には厳しくなると思う。人手がどうしても必要な業務だが、どこかで効率化が図れないか検討を続けることは重要と考える。	B		30
2 業務運営方法																	
		(1) 収入の確保	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	②外来、入院収益ともに徐々に回復し、R6年度はコロナ前のR1年度の数値を超えている。 ⑥請求漏れや未収金はどのくらいあるのか、未収金回収のための外部委託の費用はどの程度なのか、数値があると具体的は改善策が分かりやすい。	B		31
		(2) 費用の抑制	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	②既に県立病院との医薬品共同購入やコンサル業者の導入を行っているが、今後は削減額の大きい高額医療機器の共同交渉/購入を進めるべきであると思われる。 ⑥具体的な数字が出ていないが、経常収支比率が90%となっているのは、費用の抑制ができていないのが原因の1つと考えられるのではないかな。	B		32
第5 予算、収支計画及び資金計画			A	B	C	C	C	C	C	D	C	C	C	②現在の診療報酬体系では限界があるが、さらなる収入の増加とともに、特に費用の削減を強く進める必要がある。 ③収支は病院の評価にとり、極めて重要であるところ、目標値から10ポイント近い差があるのは、中期目標が大幅に達成されていないと言わざるを得ない。過去には、目標から0.1ポイント単位で下回っていることによりC評価となっていた。 ⑥経常収支比率、医業収支比率ともに目標を下回っているが、それに対するコメントや原因分析が行われていないのはどうか。	C		33
第6 短期借入金の限度額			B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	③長期にわたり、適切な目標を達成しているのではないかな。	B		37
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保しようとするときの計画																	
第8 剰余金の使途			-	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	⑥パソコンやエアコンの更新は定期的には発生するので、剰余金による更新という位置づけでよいのか気になる。	B		38

大項目 中項目 小項目	中期目標期間中の 年度評価結果				病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	備 考 (自己評価から変更した理由)	項目 別の ページ
	R3	R4	R5	R6											
第9 料金に関する事項															
第10 その他設立団体の規則で定める業務 運営に関する事項															
1 施設及び設備に関する事項	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	②今後は放射線関係の高額医療機器の更新サイクルの延長およびスケールメリットを狙って共同購入/共同交渉を検討するべきである。 ⑥/パソコンやエアコンの更新もこちらの計画の中で行うべきではないか？	B		40
2 デジタル化への対応															
(1) 情報システム等を活用した取組の推進	-	-	B	B	B	B	B	B	B	B	B	②デジタル田園都市国家構想交付金を用いて整備した、Joinによる病院内連携および病院間連携を推進して欲しい。 ⑥今後はAIを活用した業務改善にも積極的に取り組んでいただきたい。現在のAIはすでに医療現場で十分活用できるレベルである。	B		42
(2) 情報セキュリティ対策の徹底	-	-	B	B	B	B	B	B	B	B	B	⑥マイナンバーを活用した保険制度など、病院でのサイバー攻撃に対する備えはますます重要になっている。	B		43
3 積立金の処分にに関する計画															

	中期目標期間中の 年度評価結果				委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)
	R3	R4	R5	R6								
項目別検証を踏まえた全体についての評価	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	<p>①(S項目:1、A項目:8、B項目:12、C項目:3) ・業務運営上、経営的には、不十分な状態で、病床使用率を向上する努力が(救急患者の受入れ、地域紹介率を高くする)必要と思われるが、全国的に診療報酬が高くない状態で、病院経営上困難な時期と考える。全体に病院機能の強化が進んでおり順調な成果がでていると考えられる。</p> <p>②(S項目:2、A項目:9、B項目:11、C項目:2) ・今回の中期目標期間は、医療機関が最も逼迫したCOVID-19の第4波に始まり第8波まで、そして感染症法上5類への移行、その後のアフターコロナの医療需要、患者動向の変化に大きく振り回された時期であった。そのため病院運営も非常に困難であったと思われる。</p> <p>③(S項目:2、A項目:10、B項目:11、C項目:0、D項目:1) ・医業は本当に頑張っていると思うが、経営体である以上、収支の面を考慮し、この評定としました。</p> <p>④(S項目:2、A項目:8、B項目:12、C項目:2) ・4年間の職員の努力が感じられ、よくまとめられていた。 ・一方、自己評価基準と照合すると全体的に自己評価が高い印象を受けた。 ・達成度の評価基準を明確に定めていただくとわかりやすい。(2つの目標に対して1つの達成でも自己評価Aがある) ・難しいと思うが、客観的な評価のため評価指標を決めてできるだけ数値目標を定めてほしい</p> <p>⑤(S項目:2、A項目:9、B項目:11、C項目:2) ・新型コロナウイルスへの対応のために、計画策定時の想定からの変更を余儀なくされる事態となる中で、病院として努力されていたと感じております。病院を取り巻く環境がより一層厳しくなっていますが、病院として課題を認識されているようなので、今後も肅々とその課題に向き合っていいただければと思います。</p> <p>⑥(S項目:3、A項目:7、B項目:12、C項目:2) ・医療レベルを上げることに對するベクトルは素晴らしいと思うが、収支や病院運営の効率化等についてももう少し人材を配置しマネジメントを強化しても良いのではないかと。</p>	B